

ふるさと通信
TOMISATO

第 105 号

どんぐり

「富里地域ふるさと協議会」は、JR 柏駅から南柏駅に位置する 7 つの町会で構成されています。近隣センターを拠点に、町会の垣根を越えて、福祉活動や地域住民の交流を図り、住みよい生活環境づくりをめざして活動しています。

発行：富里地域ふるさと協議会・富里地区社協部会
http://www.fk-tomisato.net/

編集・制作：広報部 koho@fk-tomisato.net
お問 合 せ：TEL 04-7173-9531（富里近隣センター）

地域の防災力を高めよう「大切な“人と人のつながり”」

9 月 1 日は「防災の日」。災害に際しては、自分たちの地域は自分たちで守るという“共助”の心構えが大切です。今回は各地の防災への取り組みのいくつかを紹介します。

マンション内に災害時助け合いのネットワーク

災害時、ひとり暮らしの高齢者などを避難させるには、近所の人たちの協力が欠かせません。オートロックなど外部から入りにくいマンションでは避難支援をどうするかが大きな課題です。



柏市豊町のマンション「コンフォール」(154 世帯)では、2 年ほど前からこの課題に取り組み、支援を必要とする人と救援に協力するという人との、助け合いのネットワーク(K ネット)を作りました。

すでに 3 回の安否確認訓練を行い、その際は必ず両者の顔合わせをして、日頃からのコミュニケー

ション作りをして、災害に備えています。

現在、支援が必要という高齢者などは 13 人。これに対し支援を引

き受けた 30 人が「コンフォール救援隊」(岡部和夫隊長)を組織し、2～3 人が 1 人(1 戸)の要援護者を支援する仕組みです。

震度 5 以上の地震が発生したら救援隊員はまず自分と自分の家族の安全を確保してから担当する要援護者宅を訪ね、安否確認をします。

もし救出作業が必要な場合は、救援隊本部、マンション理事会、さらには町会の自主防災会と連携して救出を行います。「個々の救援隊に重い責任を押しつけずに“安否確認”に徹するという方針が、多くの支援者を集められた要因ではないでしょうか」と隊長の岡部さん。豊町西町会では、自主防災会の当面の活動として、町会全域(全 5 区)にこのネットワークを作ることになっています。



3日間をしのぐ炊き出し訓練

今年からは他町会の人も大歓迎!

大地震が起こった場合、公的支援が立ち上がるまで 3 日はかかるといわれています。そのため食料の備蓄は欠かせませんが、自主防災組織などで行う「炊き出し」も必要な訓練のひとつ。火を使用するだけに、都市部では場所の確保が難しいですが、豊町東町会では、低見台公園で、毎秋本格的な炊き出し訓練を行っています。公園には町会の防災倉庫があり、備蓄の米や水、かまど、鍋、釜、さらには発電機、チェーンソーといったさまざまな防災用品が備えられています。



訓練はこの倉庫前に集合し、防災用品を確認したり、使い方をおぼえたりします。みんなでかまどや釜を洗い、米、水を入れ、マキ(木片)で米を炊くわけですが、スイッチを押すだけで炊けてしまう今、火かげん、水かげんは難しく、習得するには繰り返し訓練する以外はないようです。同町会では正月のもちつき大会や夏祭りなども防災訓練の一貫として、行っているとのこと。

低見台での訓練には、例年 50 人ほどが参加。今年は 10 月 12 日(土)に実施の予定で他町会からの参加や見学も歓迎するそうです。

子供たちへの防災講習

緑ヶ丘町会では、毎年 2 月に行う餅つきの日、テーマを設けて防犯防災訓練を実施。

柏警察署の指導で自転車の安全運転講習会を行ったり、町会会館に集まり、机上での退避、避難訓練を行ったり、また、ビデオを通して地震、津波への知識を深める努力をしています。



祭 “特集” 町会の夏祭り

通り一丁目・栄町・富里・緑ヶ丘・豊町東・豊町西

祭 緑ヶ丘町会 8月10日、11日 一本松公園



祭 豊町東町会 8月23日、24日 豊小学校校庭



祭 栄町町会 8月5日、6日 二松学舎バス駐車場



祭 通一丁目町会 7月14日、15日 朝日会館



祭 豊町西町会

8月25日
豊町第3公園



マンションに囲まれて……



私も太鼓たたくわー



祭 富里町会

8月16日、17日
富里近隣センター



柏祭りに子供神輿で参加



ふるさと協議会の行事便り

◇どんぐりすくすく講座 ◇ニュースポーツの集い
◇ふるさと協議会研修旅行 ◇ゴミゼロ運動 ◇ゴルフ大会

どんぐりすくすく講座 (8月23日)

児童保健福祉部主催のどんぐりすくすく講座が富里近隣センターで開催されました。近くに知り合いがいないなどの不安を抱えながら子育てをしているお母さん達のために立ち上げて、5年目を迎えた講座です。

暑い中、13組の親子と、今回は三小・豊小のボランティアの6年生8名が保育士さんと共に参加。手遊びから和やかな雰囲気が始まり、新聞紙を使い線路を作り電車ごっこや丸めて投げ合うゲームなど、参加者全員で遊べる終始笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。



参加していた小学生は積極的に子供達とふれあい、サポートをされていて保育士さんも驚きと感謝の言葉を伝えていました。

この講座は、日頃から子供と二人っきりでいるお母さんには情報交換と同じ年頃の子供同士の交友の場として、また、一人っ子や小さい子供が好きな小学生にはふれあいの場として、とても良い時間を過ごせるのではないのでしょうか。

通常の「どんぐりすくすくクラブ」は月に一回、三小・豊小で開催。誰でも参加可能ですので町会掲示板等で開催日時をご確認ください。

ニュースポーツの集い(6 月 8 日)



第三小学校の体育館をお借りして、高齢者と子供がスポーツを通じてふれあう集いで、今年で 11 回目。地区社協部会が

中心となって行われるもので、設営や競技審判、採点などは民生委員、ふる協の役員・委員、こども会などが担当。三世代の交流を深めるのが目的です。

7 つの町会から高齢者 48 人、子供 65 人が参加。各町会長やゲストの三小・山田校長、豊小・石川教頭、富里近隣センターの鈴木所長らをチーフに 11 の

ルールに分かれ、ゲーゴルゲーム、ローンなど 7 つの競技を競い、心地よいひとときを過ごしました。



ふるさと協議会研修旅行(6 月 24、25 日)

今回は、福島県いわき市から北茨城にかけて、海岸線沿いの復興状況を視察してきました。24 日は福島県小名浜港や周辺の住居などの復興状況を、25 日は北茨城大津港の様子を視察しました。

特に大津港は、前日訪れた小名浜港に比べ復興がかなり遅れていました。港に海産物に欠かせない



製氷会社や加工会社がないため、水揚げする漁船がなく、ひっそりとしていました。地震と大津波による深刻な被害状況は、実際に現地を訪れてみなければわからないことも多く、参加者の多くは深く考えさせられたと語っていました。せめてもの応援にと思い、港内の土産物を扱う建屋を訪れてみましたが、まだテナントも埋まっていない状

況で、頭に品も全各地から集めた物ばかりが目立って、地のものはきびしい様子でした。



ゴミゼロ運動(5 月 26 日)

今年も県内全域で一参加者、ボランティア体など大人 35 名、子供 220 名が参加して、町内のゴミを集めました。集めたゴミは全体で。年よりやや減りましたが、冷蔵庫、長机など不法に捨てられた大型ゴミが、今年もありました。



参加人数	町会名	大人	子供	合
	富里	4	56	130
	豊西	66	22	88
	町	15	0	15
	町・通一	35	40	4
	緑ヶ丘	51	10	61
	豊東	154	2	246

ふれあいゴルフ大会(5 月 24 日)

第 33 回ふれあいゴルフ大会が、取手市の一ツゴルフ場で行われ、26 名が参加しました。

	丸山 さん	(豊東)
2	高 一さん	(富里)
3	小 さん	(緑ヶ丘)
子 1	小海 都子さん	(富里)

「地区社協部会」ってなに？

平成 1 年に富里地域ふるさと協議会と富里地区社会福祉協議会が一本。新しいふるさと協議会の中で「地区社協部会」と。高齢者福祉部、保健部、地域ボランティア部の 3 つの部があり、ひとり暮らしの高齢者やへの福祉、各サロン活動への支援などを行っています。(本紙 3 面の「どんぐりすくすく講座」の事参)

ふるさと協議会の行事予定(10 月～12 月)

- ◇ おでんの会 10 月 16 日(水)
(一人暮らしを囲む会) 富里近隣センター
- ◇ 第 32 回体育祭 10 月 20 日(日)
第三小学校校庭
- ◇ 豊友サロンバザー 10 月 27 日(日)
豊町ふるさと会館
- ◇ 文化祭 11 月 2 日(土)・3 日(日)
富里近隣センター
- ◇ みんなで歌おう 11 月 20 日(水)
富里近隣センター
- ◇ 野外炊飯・防災訓練 11 月 23 日(土)
富里近隣センター